

## 米国 ハリケーン「イダリア」がオレンジ果汁価格を史上最高に押し上げ

FreshPlaza 2023年9月4日

8月30日に米国に上陸したハリケーン「イダリア」は、フロリダ州のオレンジの出荷に懸念を引き起こした。このハリケーンの影響は次第にオレンジ市場に現れ、さらにオレンジ果汁の価格に影響を与えている。濃縮オレンジ果汁の価格は8月30日には前日に比べて上昇し、史上最高値の3.34ドル/ポンドに達した。

ハリケーン「イダリア」が上陸する前でさえ、フロリダ州の今季のオレンジ収穫量の見通しは、米国農務省の最終推計値が1,585万箱としている前年度(2022/23年度)の収穫量をわずかに上回りはするものの、下方修正されていた。市場関係者の予測によると、2023/24年度の出荷量は2千万～2,500万箱で、出荷量が現在の予想の2倍だった2年前とはまったく対照的である。

ハリケーン「イダリア」の影響は、すでに困難な状況をさらに悪化させると見られる。フロリダ州のオレンジは、カンキツグリーンング病による衰弱と繰り返すハリケーンの襲来によって、確実に減少している。2022年9月に襲ったハリケーン「イアン」の余波からの回復は途上であり、ハリケーン「イダリア」は生産者が直面する課題をさらに増やすと見られる。

フロリダ州産オレンジ果汁の製造量は、米国内のオレンジ果汁の総製造量の90%を超えている。オレンジ生産量減少の波及効果は果汁の製造量にも見られ、2022/23年度のオレンジ果汁製造量は前年と比較して46.5%減少し、過去5年平均を61%下回った。市場関係者の見解によれば、果汁製造量のこの減少傾向が次の2023/24年度まで続く可能性があり、ハリケーン「イダリア」が状況を悪化させる可能性が高い。

現在のオレンジ果汁価格の高騰は、ブラジルからの供給チャネルが縮小し、世界的な供給が逼迫していることも直接的な原因である。2022/23年度の世界のオレンジ果汁の総製造量は150万トンで、9%減少した。

詳細情報: [mintecglobal.com](https://mintecglobal.com)

## フィリピン バナナ生産者はパナマ病のため他の作物に移行

BusinessMirror 2023年9月4日

ダバオ市 - 北ダバオ州の農業局(PAGRO)は、同州の広大なバナナ農場で生産者を悩ませているパナマ病が拡大を続けたため、小規模なバナナ生産者らは穀物生産に切り替えたと発表した。

これは、北ダバオ州のコメとトウモロコシの面積をはじめとする地域の農作物の総作付面積に関する同局の最近の調査で明らかになった。

同局の上級農業官兼州トウモロコシ統括官のオマールT.アイコ氏は、数年前には7千ヘクタールであった北ダバオ州のトウモロコシの作付面積は、現在1万ヘクタール以上に達していると述べた。

同氏は、作物の転換は、フザリウム萎凋病、別名パナマ病の侵入によって引き起こされた「広範な荒廃」に起因するとした。この病気は、バナナ農園に影響を与えたが、管理と予防措置に費用が掛かるため、小規模なバナナ農場に悲惨な結果をもたらした。

同氏は、農民は現在、PAGROが提供する「地域の農業と生計のための取組」(Kaagapay事業)の支援を受けて、以前のバナナ農場にコメやトウモロコシを植えていると述べた。州政府は、バナナ農場を水田とトウモロコシ畑に再建するために2台のバックホウを購入し、遊休地や耕作放棄地の生産性を回復するためにハイブリッド種子と肥料を提供した。(一部省略)

同局の上級農業官であるジェファーソン O セルビト氏は、同州ではコメについてもトウモロコシと同様に増加が見られ、現在約1万9千ヘクタールある稲作農場は今後も増加すると予想されるとしつつ、「以前はコメを作っていたがバナナ園に転換され、その後、フザリウム萎凋病のために稲作に戻っている」と述べた。

執筆者: マヌエル・カヨン